

令和4年7月29日

砺波医師会誌

杏和だより

第216号

◇◇◇ 目 次 ◇◇◇

〔時 評〕	・歴史が後ずさりするとき	河合 博志	2
〔活動報告〕			3
〔散 居 村〕	・国際ロマンス詐欺にご注意ください	藤井 正則	6
	・ベランダ	伏木 弘	8
	・我が家のお猫様	伏木 梨紗	9
	・シティ・ポップ(City pop)	榎本 伸哉	10
	・『七夕の夜』	安ヵ川 誠	11
	・あいつ今、何してる	柳澤 伸嘉	12
	・「New(新しい) Normal(常態)」	山下 泉	13
	・NHKラジオ「らじるらじる」の世界	山下 良平	14
〔新入会員紹介〕	 庄川しばたクリニック	柴田 祥宏	16
	 ものがたり診療所	渡辺 一海	17
〔編集後記〕		山田 泰士	18

発行所 砺波市幸町6番4号

公益社団法人 砺波医師会

発行人 砺波医師会長 藤井 正 則

歴史が後ずさりするとき

市立砺波総合病院

院長 河 合 博 志

原稿の締め切り間際の令和4年6月24日、二日前6月22日には第26回参議院議員通常選挙が公示され、昨日23日は「沖縄慰霊の日」でした。「沖縄慰霊の日」は1945年6月23日に、沖縄現地に配備された日本軍の牛島満司令官と長勇参謀長が自決し、組織的な戦闘が終結したことから、戦争による惨禍が再び起こることのないよう、人類普遍の願いである恒久の平和を希求するとともに戦没者の霊を慰めるため制定されたものです（「沖縄県慰霊の日を定める条例」）。

一方、海外に目を向けると今年2月に始まった、ロシア・プーチン大統領によるウクライナ侵攻が4ヶ月を超えて続いています。1991年のソ連崩壊と冷戦終結を受けて、アメリカの政治経済学者フランシス・フクヤマが唱えた「歴史の終わり」が完全に間違っていたことがわかります。「歴史の終わり」とは、国際社会において民主主義と自由経済が最終的に勝利し、それからは社会制度の発展が終結し、社会の平和と自由と安定を無期限に維持するという仮説です。少なくとも自由経済・市場経済が浸透すればその国は民主化するという西側諸国の期待も幻想であることは隣国が証明しましたが、今度はついに国連の常任理事国が侵略戦争を開始しました。湾岸戦争やコソボ紛争、同時多発テロ、イランイラク紛争を受けて、「薔薇の名前」で知られるイタリアの作家ウンベルト・エーコがエッセイ集「歴史が後ずさりするとき」で歴史の時計がむしろ逆回転し、熱い戦争が戻ってくると書いたのは2013年のことでしたが、ここまでの時計が逆回転して世界戦争の危機が迫るとは思っていなかったのではないのでしょうか。

参議院選挙の各党の公約を見ると、新型コロナ、医療社会保障、エネルギー脱炭素、成長戦略、経済財政、それぞれに聞こえが良いものばかり。KPIが議席数であり、政党支持率である以上こんなものかなと思います。日本の債務の対GDP比は、金利と経済成長率が等しいという楽観的な仮定のもとでも、2034年までに400%にまで上昇すると推定されている（ティム・ケイン著「なぜ大国は衰退するのか」）中での公約とは思えません。『再分配政策の政治経済学』の権丈善一先生が官邸や経産省すら財源を考慮しない現状に「そろそろ社会保障のこと、まじめに考えたらどうだ。。。」（医療と介護 2040）と書かれているのもうなずけます。

時代が進んでも年を重ねても社会も個人も成長して安定化するのは簡単ではないようです。少なくとも自分自身の回りは持続可能にやっていけるよう気をつけて丁寧に過ごしたい。そんなふうに未だ騒然としている世情の中で感じています。

活動報告

(令和3年12月～令和4年6月まで)

令和3年12月

- 2日 新型コロナウイルスワクチン追加（3回目）接種実施に向けての説明会
- 13日 第10回理事会
在宅医療支援センター運営委員会
社会保険委員会（県医）
- 14日 在宅・福祉・介護委員会（県医）
- 15日 令和3年度砺波地域災害医療連携会議
- 20日 令和3年度地域産業保健センター全体会議

令和4年1月

- 11日 第11回理事会
- 20日 砺波地区病診連携がん診療連携カンファレンス
- 22日 令和4年度砺波准看護学院一般入試
- 25日 学術講演会
「SGLT2阻害薬による新たな慢性腎臓病治療薬」
大阪医科薬科大学 腎臓内科 教授 美馬 晶
- 26日 砺波准看護学院 令和4年度一般入試合否判定会議・運営理事会

令和4年2月

- 1日 砺波准看護学院入試合格発表
- 7日 心電図判定専門医委員会（県医）
- 14日 令和3年度第2回臨時社員総会
第12回理事会
在宅医療支援センター運営委員会
- 19日 令和4年度砺波准看護学院一般入試（2次）
- 22日 学術講演会
「アトピー性皮膚炎の治療戦略」
富山大学附属病院 皮膚科 診療教授 三澤 恵
砺波准看護学院 令和4年度一般入試（2次）合否判定会議（書面）

令和4年3月

- 2日 砺波医療圏内新型コロナ患者対応会議
令和3年度高岡医療圏・砺波医療圏結核予防医師研修会
「結核・潜在性結核感染症（LTBI）の現状について」
富山県高岡厚生センター 所長 垣内 孝子
「日常診療で肺結核を見逃さないために～高齢者結核を中心に～」
公益財団法人結核予防会結核研究所 臨床・疫学部
部長 大角 晃弘
- 3日 第56回砺波准看護学院卒業式
富山県在宅医療支援センター運営協議会
- 7日 県・郡市医師会協議会
- 14日 第13回理事会
- 17日 砺波地区病診連携がん診療連携カンファレンス
- 23日 令和3年度第3回臨時社員総会
- 24日 第205回富山県医師会臨時代議員会

令和4年4月

- 7日 第58回砺波准看護学院入学式
- 11日 第1回理事会
- 14日 地域医療・保健事業懇談会
- 28日 学術講演会
「診療報酬改定を踏まえた砺波医療圏の医療提供体制」
バイエル薬品株式会社 地域渉外担当 猪熊 智之
「心不全・心房細動患者を地域で診るために必要な薬の知識」
心臓血管センター金沢循環器病院 循環器内科部長 寺井 英伸
第206回富山県医師会臨時代議員会

令和4年5月

- 16日 第2回理事会
- 19日 特定健康診査等事務説明会
- 23日 令和4年度第1回広報委員会

24 日 学術講演会

「片頭痛新時代～病態と自験例からフレマネズマブの使いどころを探る」

甲南加古川病院 脳神経内科 部長 北村 重和

25 日 監事会

27 日 富山県在宅医療支援センター運営協議会

30 日 乳幼児・学校保健員会（県医）

令和4年6月

1 日 2022 年度（令和4年度）富山県医師会自主指導

7 日 県・郡市医師会協議会

9 日 砺波地区病診連携がん診療連携カンファレンス

13 日 第3回理事会

在宅医療支援センター運営委員会

23 日 第207回富山県医師会定例代議員会

27 日 令和4年度定例社員総会

28 日 学術講演会

「脳卒中 Up to Date ～脳卒中後疼痛を含めて～」

市立砺波総合病院 脳神経外科 主任部長 増岡 徹

「急性期脳梗塞治療と脳卒中二次予防における抗血小板薬の使い方」

済生会富山病院 脳神経外科 主任部長 久保 道也

国際ロマンス詐欺にご注意ください

藤井整形外科医院

藤井 正 則

「国際ロマンス詐欺」というフレーズは、時々耳にする程度で自分には関係ないと思っていました。ある時、インスタグラムを開いたら「貴方は78人からの友達リクエストを放置している」とトップページに表示されました。それもそうかと思い、軽いノリで上から順番に3人の申請を承諾しました。これが詐欺グループと丁々発止する発端です。

一人目) 40歳代 オハイオ州在住米国人 独身女性 現在は米国陸軍に所属 イラクのバグダッドに駐留し平和維持活動中 両親とは死別 親族と遺産(3億8000万円相当)係争中 安全な日本で遺産を管理してほしい 住所 電話番号 メールアドレスを教えてください。ここでブロック。

二人目) 35歳 ロサンゼルス出身米国人 独身女性 現在は米国空軍に所属 イエメンのハンナに駐留し平和維持活動中 両親が911テロで死亡 テロリズムと戦うために入隊 一人っ子のため天涯孤独 駐留中に足を怪我 8月に除隊し日本へ行く。ここでブロック。

三人目) 36歳 韓国釜山出身 米国市民権を得てカリフォルニア在住 独身女性 現在は米国陸軍に所属 シリアに駐留し平和維持活動中 LINEでチャットしよう。ここでブロック。

友達リクエストをいきなり送りつけます。大概は国連職員や軍人を名乗り平和維持活動中となっています。プロフィール写真は美人ですが、当然なりすましか合成写真です。両親と死別し天涯孤独を名乗る場合もあります。基本データは詳細な内容を記載している事が多いです。友達リストを見ると八割が日本人男性、二割が韓国人男性で女性は一人もいません。始めは簡単な英会話からスタートしますが、途中から怪しげな日本語に変わる事もあります。一度、友達リクエストを承認してしまうと、知らない人物からのリクエストでも気軽に承認する人物として登録され、ターゲットにされます。SNSは面倒くさいので、貴方とは仲良くしたいからと、LINE等のフリーメールに誘ってきます。この一連のやり取りの内容は極めて違和感がなく、自然に誘導されます。最後には日本に品物を送り付け、法外な料金を請求されたり、日本へ渡航する際の旅費を工面する羽目になります。勿論、品物は二束三文で本人も日本に来ません。そして被害にあっても、警察は話を聞くだけで動きません。

そもそも軍隊の規律として、紛争中の駐留地で情報が漏洩する様なSNSは御法度です。米国はトランプ政権時代に駐留平和維持活動を縮小しています。米国内のLINE普及率は1%前後で、LINEを好むのは日本人と韓国人だけです。背後には外国人を装った日本人詐欺グループが暗躍している可能性もあります。うら若き独身女性が馴れ馴れしく日本の前期高齢者と、身の上話すること事態が怪しいと思いませんか。対策として知らない人物からの友達リクエストを承認しない。不審なメッセージは開かない。怪しいと感じたら、躊躇せず直ぐにブロックする事が肝心です。

以上が、国際ロマンス詐欺グループとの顛末です。何かのお役に立てれば幸いです。



ベランダ

伏木医院

伏 木 弘

新型コロナウイルス感染の終息も未だ見えずなかなか外出もままならない状況です。全国の学会や講演会もほとんどがWEB開催となり県外へ出ることもほとんどありません。そのために最近の診療外での日常生活は、バンド練習と当家のベランダでのブルーベリー、ラズベリー、イエローベリーそしてブラックベリーの世話です。バンド練習は、メンバーの周囲の感染状況を確認して週に1回の頻度で行っています。2年前までは練習後に一杯と練習より時間をかけて宴会をしていましたが今は練習のみで少し物足りない状況です。このような状況下でも何とか年2回は大正蔵でコンサートを開催しています。しかし、コンサート内容はビートルズの曲がほとんどでありあまり進歩が見られません。昨年暮れには、人数制限をして開催しました。今回は現在制限解除の状態であり多くの方に来ていただきたいと思っています。またベランダでの果実栽培に関しては、以前より少しずつ鉢を増やして今では二階のベランダが鉢で一杯となり毎日朝夕の水やりや草むしりで結構忙しいです。ブルーベリーの鉢が最も多く、6月初旬から果実が成熟し、毎日小ボール1杯に収穫できます。ブルーベリーにもいろいろな種類があり、粒の大きいものから小さいが数多くの実をつけるものがあります。またラズベリーは程よく甘くなりこれもかなりの量が収穫できます。ブラックベリーは品種の為か種がやや硬くて少し食べにくいです。果物として夫婦で食べるには量が多いため毎年の収穫で妻がブルーベリージャムを作ってくれます。これをヨーグルトにかけて美味しく頂いています。



我が家のお猫様

市立砺波総合病院 麻酔科

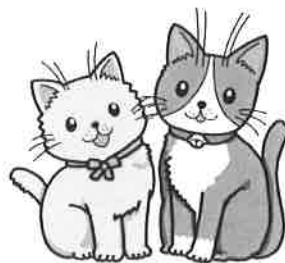
伏 木 梨 紗

医師免許を取得し1年経った頃、生後3ヶ月程の雄のアメリカンショートヘアを家族に迎え入れました。数か月後、1匹で日中を過ごすのは寂しだろうと、今度は同世代の雌のアメリカンショートヘアを家族に加えました。これで寂しくなかなろうと思いきや、元々お猫様方は日中を殆ど寝て過ごす生き物であり、お互い過度に干渉せずにマイペースに日々を過ごしているようでした。寒い日は寄り添い、時にはじゃれ合い、時には喧嘩(?)したのか毛が舞う日もありましたが、おおむね仲良くしていました。

2匹を迎え入れてから11年の時を経て、ある夏の日に雌のお猫様の胸にしこりがあることに気が付きました。かかりつけの獣医さんで摘出手術を受けたところ、脈管浸潤のある悪性の乳癌と診断されました。これ以上の加療はお猫様の負担を増す可能性が高いため、そのまま経過観察として自宅で余生を過ごすこととなりました。

12歳を迎えて数日後、雌のお猫様は自宅で息を引き取りました。猫は死に際を人間には見せないと聞いていたので、まさかりビングのど真ん中で亡くなるとは思っていませんでした。通説によると瀕死時に身の安全を図るために身を隠し、そのまま死を迎えることが多いとのことで、我が家のリビングがお猫様にとって自宅内が身の危険がないところだと思って貰っていたのだと思います。残された雄のお猫様も相方がいないことに気が付いているのか、家中を探し回ったり、普段とは異なる声で鳴いてみたりと落ち着きがない日が数日続きました。その後、理解したのか忘れたのか分かりませんが、元の生活に落ち着きました。

雄のお猫様もあれから更に年を重ね、余命も今後どれくらいあるのか分かりませんが、最後の日まで安心して過ごせる家でありたいと思います。我が家に来てくれてお猫様方がどのくらい幸せに過ごせているのか分かりませんが、少しでも安らぎを得てくれていたら嬉しいです。



シティ・ポップ (City pop)

砺波誠友病院

榎 本 伸 哉

5年ほど前に、ラジオ番組のトークで、「シティ・ポップ」という言葉を初めて耳にした時、そのネーミングの「ダサかつこよさ」に思わず噴き出してしまいましたが、最近この言葉をよく耳にすることから、ジャンルとして確立され、周知されてきていることを知りました。

シティ・ポップとはフリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』によると、「1970年代後半から1980年代にかけて日本で制作され流行した、ニューミュージックの中でも欧米の音楽の影響を受け洋楽志向の都会的に洗練されたメロディや歌詞を持つポピュラー音楽の呼称」という記載がありました。これらは私が小中学生、高校生の頃、ゴールデンタイムに放送されていた歌番組をテープレコーダーでカセットテープに録音し、何度も何度も聴いた雑音だらけの曲たちでした。

月日が流れ、PCやスマートフォンのYouTubeやAmazon Musicといったアプリによって、ほぼ無料で楽しめる無数の曲の中から、それらシティ・ポップを次から次へと見つけ出しては聴くことができるようになったことは、現実の便利さを通り越し、私をまるで未来の夢世界の中にいるような気持ちにさせるのです。感受性の高い年頃に聴いた「おしゃれな感じ」の曲は、聴けば必ず甘酸っぱい記憶が蘇り、ノスタルジーに浸ることができるため、今や日々の仕事に疲れた私を癒してくれる日常に欠かせないアイテムとなっています。当時は幼くて意味が理解できなかった歌詞は軽快な旋律とともに耳に滑り込み、目を閉じれば何処にいるのかわからなくなってしまっている友や、天国の母をまぶたの裏に映し出し、今ある自分を力強く支えてくれている人達のことを、いつでも思い起こさせてくれるのです。

40代後半から50、60代以降の皆さんには、かつてワクワクさせてくれた高度経済成長期終焉の頃に思いを馳せながら、もっと若い世代の皆さんには、現代のJ-POPと比べても、遜色ないおしゃれな曲調を新鮮な気持ちで、シティ・ポップを聴いていただきたいものです。



『七夕の夜』

砺波誠友病院

安カ川 誠

昔と違い、最近は街の灯りが明るくなったためか夜空の星を見上げる機会がめっきり少なくなつたように思います。

何千億もの星々にはどのような生物が住んでいるのか想像を掻き立てるものがあり、SF小説の世界でも数々の宇宙人が描かれてきました。これだけ多くの太陽と同じ恒星があれば中には生き物の誕生した星もあり、数が少ないにしても人間と同じような知的生物もいるに違いないと考えられてきました。しかし何億、何十億年前からすでに科学技術を持ったそれらの生物は広く宇宙に進出しているはずなのに未だに地球になんの連絡もせずその痕跡さえ見当たらないのはなぜだろうかというのは大きな謎とされています。様々な憶測を呼びまた宇宙人の通信を探す計画も行われていますが未だに何も発見できていません。この謎に対する最も単純な答えはこの宇宙にいる科学技術文明を持った生物は私たち、人類だけだということです。しかし何故確率的にありそうにないそのような宇宙になったかは新たな謎として残ることになります。詳細はここでは説明出来ませんが、私は時間と共に宇宙が枝分かれするという量子力学的解釈が真実である事によってそれが説明出来ると考えています。(興味がある方は直接聞きに来て下さい)

7月の七夕の夜、数知れぬ星々を眺めながらこの宇宙のどこにも文明をもった人類のような生物がいないことを想像してみてください。私たち人類が減びてはいけない貴重な存在であり、また障害老人といえどもその一員であることを思い出しながら。



あいつ今、何してる

柳澤医院

柳 澤 伸 嘉

先日部屋を掃除していたら大学の卒業アルバムが出てきた。卒業して 40 年同期生はどうしているか気になってきた。大学の同級生に変わった男がいた。彼は卒後小児科に入局していたが 4 年目ごろ突然退局し、医事新報の求人欄をみたのか北海道庁に連絡し北海道の病院へ勤め始めた。稚内から 40km ほど南の某町立病院に紹介され勤務していた。かの地では小児はほとんどおらず、内科から一部外科まで診察していたと聞いた。(独学、読学?) 6 ヶ月ほど働き、本格的な冬到来の前に本州に戻ってきて、得た給料で自由気ままに 6 ヶ月間暮らし雪が少なくなった 5 月頃、道庁からのお誘いの電話を受け再度北海道にわたった。自動車免許は持っていないのだが、今度は駅より離れた別の道立病院を紹介され 6 ヶ月間ほど勤務しやはり雪が積もる前に本州に戻るといったサイクルを 7 年ほど続けていた。まるで季節労働者のようだがある意味、いまはやりのフリーランス医師の走りとも言えるかもしれない。今から 30 年以上前、医局の力がまだ強く勤務先が自由に選べない時代の話で、希望者がいない北海道の僻地だからこそ可能だったのかもしれない。医局に残り関連病院めぐりをしていた私には彼の決断力、行動力に驚き、またその自由さが羨ましくもあった。その後私が関東を離れ砺波で開業したため会う機会がなくなり、現在どこにいるのか不明である。連絡を取りたいのだが同窓会名簿を見ても住所欄には「ご連絡下さい」の一行のみである。(どうも実家の医院は継いでいないらしい) 最近同年代の訃報の知らせも増え、自分の年を考えるともう一度彼に会いその後の話などを聞きたいのだが。TV 番組「あいつ今何してる」のように誰か探し出してくれないかな。



「New (新しい) Normal (常態)」

桐沢医院

山下 泉

ニューノーマルとは「New 新しい」と「Normal 常態」を掛け合わせたまんまの造語です。COVID - 19 の影響を受けて変化した私たちの生活様式や働き方を示す言葉としてすでに根づいていますよね。わかるような、わからないような単語です。

医師の観念も変わりました、学会、講演会、勉強会は現地に参加してナンボであったのにハイブリッド、オンデマンドなど自宅にいて参加できる、時間を気にせずいつでも視聴できるシステムが構築されました。それができない学会や講演会は不満さえ感じるようになりました。いままで諦めていた遠方での学会や時間的に困難だった勉強会が容易に視聴できるようになったことは COVID - 19 がもたらした恩恵とも言えます。半面、現地で参加することでの緊張感や臨場感がなくなってきたことも事実です。このことを踏まえれば今後の専門知識を維持するための基準や制度が変わって来るのも無理からぬことでしょう。

話は変わりますが先日、車のドライブレコーダーの電源が切れていることに気が付き修理点検を頼んだところ意外な原因を指摘されました「ドラレコのバッテリーは車が走行することで充電されますが最近、走行距離が短くなり十分な充電ができなくなったのが原因です。」それだけ出かけなくなったということかと納得しました。

またコロナ禍がもたらした弊害として大きなものそれは子供たちを脅かす視力の低下です。私は眼科医なので低下の原因となる近視化及び近視の進行に歯止めがかからないことを非常に懸念しています。子供たちの眼軸（眼球の長さ）が伸びてきているというニュースは聞かれたことがあるかと思います。2020 年コロナ感染蔓延を防ぐため全国的に一定期間の学校閉鎖が実施されました。閉鎖明けに行われた小学生 8300 人を対象とした調査では例えば小 3 年でそれまで数年間平均 17% 前後だった近視率が 23% と短期間で増加したことはショックでした。子供たちは外で遊ぶことを禁じられ自宅待機を余儀なくされました、中学生、高校生も部活中止、当然自宅での遊び、読書、ゲーム、TV やスマートフォンでの視聴時間の増加（YouTube 等）、リモート授業、タブレットを使った授業の本格化等子供たちの取り巻く環境は近視化へまっしぐらとなりました。ちなみに外で浴びる紫外線は近視進行（眼軸延長）のブレーキになると言われています。大人もリモートでの仕事が増え眼精疲労、ドライアイ、肩凝り頭痛などの症状はセットで襲ってきます。不定愁訴を訴える人が明らかに増加してきたと思います。これからは自分の健康をどう維持し守るかニューノーマルの基準が必要となりますよね。

NHKラジオ「らじるらじる」の世界

やました医院

山下良平

以前、この欄で書いたことがあります。わたしはスマホでNHKラジオ「らじるらじる」を聞くことをささやかな楽しみとしております。書類書きなどをしながら、基本的にその時に放送されている番組をただ聞き流しているだけですが、適当な番組がない時は、聴き逃しサービスからこれだと思う講義や講演を探し出して聞いています。NHKラジオの文化教養プログラムには優れたものが多く、各界選りすぐりの講師による一般向け講義や講演は、分かりやすくとても勉強になります。講演であれば、同じ内容を本で読もうとしたら多分数日かかるところを1時間で聞けてしまいます。気に入ったものは後日、改めて早送り再生で聞き直し、自己満足に浸っています。

この5月の連休、レセプト点検をしながら、例によって「らじるらじる」を聞いていたところ、聴き逃しサービスで2つの興味深い講演に出会いました。いずれも今年の3月の日曜カルチャー、「人間を考える、私たちの生きる時代」シリーズの中で語られたものです。1つめは、高名な社会学者、大澤真幸さんによる「未来の他者とわれわれの死者、戦後日本にトカトントンが鳴り続く」です。私たち日本人は、他国に比べて未来世代（すなわち未来の他者）に対する責任感が極めて希薄な国民だとのこと。これがなぜかと考えると、もう一方の他者である過去に亡くなった人たち、私たちにとっては特に先の十五年戦争（日中戦争から太平洋戦争）で亡くなった人たちに対する処し方が国民としてコモン（common）なものとして定まっていなかったからではないか。そしてそのような状況は、太宰治が小説「トカトントン」の中で描いた、トカトントンと頭の中で我々の欺瞞に警鐘を鳴らすかのように響く擬音が、戦後の日本人を捉えて放さないからではないかというのが、私なりにまとめた講演主旨です。このような日本人の難点は、日本の直面する現在から未来にわたる様々な問題に影響を与え、その解決を困難にしています。そしてこの日本人の難点は、2つめの全く内容の異なる講演、與那覇潤さんによる「過剰可視化社会、見えすぎる時代と正しくつきあう」の中でも通奏低音として同様に鳴り響いているように私には感じられます。評論家、與那覇潤さんについては、私はこの講演を聞くまで全く知りませんでした。1979年生まれの若手論客のホープで、2020年に第19回小林秀雄賞を受賞しています。與那覇さんは講演の中で、私たち日本人は、もはやお互いに同じコンテキスト（context、文脈。この「同じコンテキスト」と言うのは先の「コモン」に通じると思います）の中で意思疎通すること

が困難となっていており、目に見えるもの、すなわち可視化されたものしか理解、信用できなくなって来ている。その結果、重大な問題に対する negative capability（この用語に否定的意味はなく、写真のポジ・ネガ類似の表現です。表に現れる positive capability の裏返しで、それを背後で支えている能力といった意味合い）、すなわち現時点では目（表）に見える（可視化できる）成果や結果、解決法を提示することができないが、その状況をこらえながら次（将来）を見据えて、背後（裏）で努力し続ける社会的忍耐力、思考力そして復元力が、現在の私たち日本人には欠如していると喝破しています。（ただし、これは私なりにまとめた講演要旨です。）

コロナ禍、ウクライナ戦争、東アジアにおける安全保障環境の変化、エネルギー問題、気候変動など、日本を取り巻くまさに現在進行形の様々な重要問題を考える上でも、上記2つの講演は、極めて示唆に富むと考えられ、押しつけがましいと思いつつも、敢えて紹介させていただきました。これからも「らじるらじる」の世界を楽しんでいきたいと考えています。（なお、紹介した上記の講演は既に聴取可能期限が過ぎています。）



新入会員紹介



庄川しばたクリニック

柴田 祥 宏

砺波医師会会員のみなさま

初めまして、この度は砺波医師会に入会させていただきました、柴田祥宏（よしひろ）と申します。この度、砺波市庄川町示野に庄川しばたクリニックを開業しました。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

わたくしの紹介をさせていただきます。

昭和 49 年 12 月 22 日に砺波総合病院で出生しました。地元の庄川小学校、庄川中学校、高岡第一高等学校、福井医科大学と進学し、医師免許を取得しました。大学時代は弓道部ならびにワンダーフォーゲル部で活動し青春時代を過ごしました。夏は毎年、別当出合から白山頂上まで登っていました（現在は、体力が自身ありません。おそらく、立山室堂から雄山までぐらいしか登れないと思います）。また、弓道は三段まで昇段しましたが、四段の昇段審査で何度も落ちたため、お金が続かず四段取得は諦めました。

大学卒業後は、救急医療に強くなりたいとの思いから、宇治徳洲会病院での初期研修ならびに内科研修をおこないました。その時に、死にゆく患者さんに対してどのように接すればよいかわからず、それを学ぶために、国立がんセンターでのレジデント生活を送りました。その後、厚生連高岡病院、兵庫県立がんセンターで抗がん剤を中心としたがん薬物療法の診療を行いました。その後、再度救急医療も含めた一般内科の勉強をするために福岡徳洲会病院で総合内科、富山赤十字病院で総合内科を在籍後、生まれ育った地元での診療所開設を決意しました。

今後は、狭い専門領域の医療から幅広いプライマリーケア医療へとシフトをおこない、患者さん目線に合わせた医療を行っていきたいと思っています。砺波市の地域医療に貢献し、できる限り地域の健康寿命を延ばしていきたいと考えています。現在、わからないことも多く、また、砺波医療圏での診療は、今回が初めてになります。砺波医師会会員の皆様、未熟なわたくしへの叱咤激励のほどよろしくお願い致します。



ものがたり診療所 渡辺 一海

今年度より、砺波医師会に入会させていただきました渡辺一海と申します。出身は東京都世田谷区で、中学・高校は神奈川県にある私立聖光学院高等学校に通いました（同じ高校の出身者は富山県にほとんどいないのですが、偉大な先輩として砺波総合病院病理診断科の中嶋隆彦先生がいらっしゃいます）。2015年に富山大学を卒業し、黒部市民病院での初期研修後、総合診療・家庭医療の道に進むことを決意し、富山大学総合診療科のプログラムに入りました。昨年度、家庭医療専門医・指導医を取得し、本年度より富山大学の大学院（疫学・健康政策講座）で学びつつ、週3回のものがたり診療所勤務を開始しています。将来的には、在宅医療を含めた地域包括ケアに関わりたいと考えています。

昨年、富山市でITエンジニアをしている方と結婚し、今年の1月に南砺市の高瀬神社で挙式を挙げました。今後は、しっかりと医業に取り組み、患者様一人一人を大切にしながら、良い家庭も築けるよう邁進したいと思います。

最近、妻の影響を受けて、今更ながら Mr. Children の曲をよく聞くようになりました。“くるみ”や“Any”、“GIFT”といった素敵な歌詞の曲が多いですし、“フェイク”や“LOVE はじめました”といったダークな世界観も惹かれるものがあります。もともと色々なクローバーZが好きで、ライブといえばももクロだったのですが（ニューヨーク公演までついていったこともあります）、コロナが落ち着けばいつかミスチルも現場に参戦したいと思います。

コロナ禍のため対面で情報交換等を行う機会が限られており、なかなかみなさまにお会いできる機会がなく、とても残念ですが、いつの日かお目にかかれることを願っております。おいしいものを食べることが生きがいなので、ぜひ色々なお店を教えてくださいありがとうございます。

若輩者ですが、精一杯努力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

砺波医師会誌 第216号

編集後記

「コロナの影響で…」といえは、会合やイベントなどの中止を受け入れざるを得ませんでした。不都合な事象は、「コロナの影響で…」という言葉に納得させられてきました。そんなある意味万能の言い訳は、そろそろ通用しなくなりそうです。医師会の先生方とは、「顔が見える関係を」と言われ続けてきましたが、「コロナの影響で…」ご無沙汰しております。ちょっと気が早いですが、今年こそ忘年会が開催され、歓談できるといいですね。

山 田 泰 士 記

(広報委員) 豊田 葉子、津田 博、山田 泰士

